

数学科

教科名	数学	科目名	数学研究Ⅱ
科目の目標	問題演習を通して、数学Ⅱ・Bで学習した基本事項を復習すると同時に、さらに発展させて応用的な問題を解く力を養成する。		
履修学年	3年	類型	文型
単位数	2単位	履修形態	選択履修
教科書	数学Ⅱ・数学B(数研出版)	副教材等	キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B(数研出版)

①学習の目標

問題演習を通して数Ⅱ・Bの総復習を行い、実力を養成する。

②学習内容と授業の進め方

問題集で演習を行う。教材が基礎と応用に分かれているので基礎を一通り演習した後、応用の演習を行う。学習内容は以下の授業計画を参考にすること。ただし、内容の順序については実状に合わせて変更する場合もある。

③学習に当たっての留意点

- (1) 2年で学習した事項を単に復習するだけでなく、それを応用して種々の問題を解くこと。
- (2) 問題演習が中心となるが、毎日の予習、復習も大切であり、進路実現のためにも自学自習の姿勢を身につけること。

④評価の観点

(1) 関心・意欲・態度

【関】 高校数学の基礎的な知識を中心とした内容に関心を持ち様々な問題解決に積極的に活用することができる。

(2) 数学的見方や考え方

【数】 数学的な見方や考え方を身につけ、具体的な事象を考察することができる。

(3) 表現・処理

【表】 数学の法則などを用いて表現し、様々な計算を通して的確に処理できる。

(4) 知識・理解

【知】 高校数学の基礎的な知識を身につけようとしている。

⑤評価の方法

定期考査の結果、学習活動への参加の意欲・態度などで総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	第14章 ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの基本、内積 ・位置ベクトル、ベクトルの応用、空間座標 ・交点の位置ベクトル 	・数学Ⅱ・Bの問題演習を通して既習の知識を再確認し問題解決に活用できる。【関】 ・問題演習を通して数学的な事象を考察できる。【思】 ・様々な問題を通して的確に処理できる。【技】 ・演習を通して高校数学の知識を身につけようとしている。【知】 前期中間考査 前期末考査 後期中間考査
5		<ul style="list-style-type: none"> ・終点Pが動く範囲の面積 ・座標空間内の三角形の面積 ・直線と平面の交点 	
6	第13章 微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・導関数、接線、最大最小、方程式・不等式への応用 ・不定積分、定積分 ・面積 	
7		<ul style="list-style-type: none"> ・3次方程式の実数解の個数 ・定積分で表された関数 ・面積の条件から係数決定 	
8	第12章 指数関数・対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数の拡張、指数関数 ・対数とその性質、対数関数 ・桁数、小数首位 ・極値から関数の係数決定 	
9	第11章 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・弧度法、一般角の三角関数 ・加法定理 ・三角方程式、不等式 ・三角関数の最大・最小 	
10	第10章 図形と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・点と直線、円の方程式、円と直線 ・二つの円、軌跡、領域 	
11		<ul style="list-style-type: none"> ・線対称な点の座標 ・円外の点から引いた円の接線 ・三角形の重心の軌跡(連動形) ・領域と最大・最小 	
	第9章 複素数と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数、解と係数の関係、剰余・因数定理 ・高次方程式 	
12	センター演習	センター対策問題集	
1	2次対策演習	数学ⅡB 2次対策問題演習	